

彼方 【かなた】

校長通信
H29.12.18
Vol.23

【駅伝部男子全国制覇、女子六位入賞】

第二十五回全国中学校駅伝大会が十二月十七日（日）に滋賀県野洲市にある希望が丘文化公園を会場に開催されました。二十四年前、白山中学校は、熊本県で開催された、この大会の第一回大会に男女で出場し、男女共に準優勝に輝きました。そして、四半世紀の時を経て今また新たな歴史をつくり上げたのです。男子は過去三回出場し、昨年はトップと十秒差の四位入賞でした。それから一年間、「挑戦者」という言葉を掲げ、日本一になるために日本一の練習に取り組んできました。そして今回、四回目の出場で、見事に全国制覇を成し遂げたのです。それも大会新記録というおまけまでつけて結果を出しました。さらにその上で、東葛駅伝や葛南駅伝、県駅伝、関東駅伝、全国駅伝



という大きな駅伝大会すべてでタスキを一位でつなぎ、一度も二位になったことがなく、完璧



なタスキリレーで完全優勝を成し遂げてきたのです。

教員生活を三十年以上経験し

ていても一部活動の団体優勝に立ち会える先生は数少ないと思います。ましてや三年間しか中学校生活を経験できない皆さんが、仲間の全国制覇に立ち会えるというのは、本当に奇跡です。優勝できた仲間と一緒に学校生活を送れることやみんなで喜びを共有できることが本当にうれしくてたまりません。一生の思い出として心に刻んでいきたいと思っています。

男子の結果も女子の結果も、選手や顧問の先生の頑張りのもとより多くの方々の支えによって得られた結果であり、部長の野島悠太さんがいつも言っていた「挑戦者」という気持ちと「感謝」の気持ちで創り出した結果だと思っています。

凱旋報告の退場の時に演奏された白山中の校歌に歌い込まれている「純乎志操」というぶれない志や「忍と耐」という耐心のある性格、一人も置いていかないという仲間を思う友情、これらが「樺」に込められて得られた結果なのです。



白山男子 大会新で初栄冠

女子6位、稲垣が区間賞

順位	選手名	所属	タイム
1	稲垣 大	白山	12:25
2
3
4
5
6

【千葉日報より】

女子は葛南駅伝で四位以内に入つて、県駅伝出場が最初の目標でした。それが全国大会入賞に代わり、六位入賞を果

たしたのです。口で言うほど簡単ではありません。選手はもとより部員一人一人の伸びがなければ実現しませんし、確実に成長していかなければ叶わない目標だったと思います。ある意味男子の優勝以上の結果かもしれません。

「やればできる」という言葉はよく聞きますが、目標を掲げ、絶対にやりきるまで諦めない、最後まで声をかけ合う駅伝部の姿を見せてくれた顧問の先生方とそれを見事にやってくれた駅伝部のみんなに心からの拍手を送りたいと思います。諦めずに続ければきっと何かが見つかるということを私たちに教えてくれたような気がします。

白山中駅伝部！
日本一&六位入賞
おめでとう！

